



一般社団法人 京都府建築士会
7月1日 「建築士の日」

耐震化・利活用検討事業

【建築士とめぐる峰山まちあるき】

およそ98年前に起きた「北丹後地震」

1995年2月阪神・淡路大震災、2004年10月新潟県中越地震、2011年3月東日本大震災、2016年4月熊本地震、2024年1月石川県能登大震災をはじめに海外においても地震が多発しています。

再び丹後でも大きな地震が発生するのではないかとされています。

これを期に、復興の第1歩となった峰山小学校本館と、犠牲者の追悼と学術的な研究の為に建てられた丹後震災記念館を見学し、改めて北丹後地震の教訓を生かすことが目的です。

但し両建築とも経年変化により耐震性が失われており、通常では内部に入ることができません。建築士会が耐震化・利活用検討事業の一環で劣化度調査を行うもので、その調査を見学するという形で一般参加できるものです。単なる見学会ではありませんので、当日様々な制約がありますが、必ず従っていただかなければなりません。

開催日時：2025年6月28日（土）9：00（雨天決行）

集合場所：京都府京丹後市峰山町不断 峰山小学校前

参加費：無料

定員：30名（スタッフを含め1班15名以内とします）

主催：一般社団法人京都府建築士会

後援：京都府、京都市、京丹後市

1. 丹後震災記念館 9:30～10:30

昭和2年3月7日に発生した北丹後地震は、丹後地方に甚大な被害をもたらしました。

丹後震災記念館は、震災の記憶を後世に伝えるため建設されました。

建物は震災直後の昭和4年12月竣工で、鉄筋コンクリート造を採用し、窓の開口を極力小さくし耐震性能に考慮するなど細部にわたり配慮した設計になっています。京都府の指定文化財となっています。



2. 峰山小学校 11:00～12:00

設計者は丹後震災記念館と同じ一井九平。鉄筋コンクリート造、地上2階

1階は校長室、職員室、保健室等管理諸室。2階は講堂。

体育館とは別に講堂を持つ小学校は珍しく、無柱で天井高さ6mという大空間大スパンであることも当時では珍しい。

北丹後地震後にはいくつかの小学校の建築に鉄筋コンクリート造が用いられたが、現存する建物は峰山小学校が唯一である。文化財指定はなされていないものの、希少な近代建築である。



申込先 一般社団法人京都府建築士会 事務局

FAX 075-255-6077 メール contact@kyoto-kenchikushikai.jp

申込締切 2025年6月15日

申込方法 FAX・メールでの申し込みとなります。

以下について記入してください。（当日連絡先：090-1965-7522）

ふりがな		年齢・性別
氏名		
Email		
緊急連絡先（携帯電話等）		

